

事業名	地域に根ざした人材活用事業
-----	---------------

総事業費	44 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	(1) 児童生徒の豊かな人間性の育成に資する (2) 教職員の指導力向上に資する	
事業の実績と成果	取組内容	市内外の講師（教育委員会含む。）を各学校へ招き、研修・講話等を行っていただくことで、児童生徒又は職員の能力向上を図った。
	成果	市校長会等で活用を呼び掛けたことにより、昨年度よりも講演数が21増となり、各小中学校での児童生徒の授業内容がより良いものとなった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	当初見込んだ講師派遣回数よりも各学校が要望する講師が少ないため、活用について周知・提案する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	各校の特色ある教育活動を推進において、地域の優れた人材を招聘し内容の充実を図ることができた。併せて、地域の人たちと児童生徒、教職員が交流する中で、郷土に寄せる愛着を醸成することができている。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	2024年度においても市内外の講師を招聘し、学校教育活動の充実を図る。
-----------	-------------------------------------

事業名	外国青年招致事業
-----	----------

総事業費	940 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動, 外国語科の学習に対する意欲向上を図る。 ・異文化理解や国際交流への関心を高める。 	
事業の実績と成果	取組内容	市内11校の小・中学校を計画を立て指導を行っている。事前に各学校から指導内容の確認とALTの関わりについて計画書を提出し、指導に当たっているため、充実した指導を行うことができています。
	成果	全国学力学習状況調査においても全国平均並みの結果を出すことができています。今年度から、リスニングやリーディングも取り入れられたこともあり、生の英語に触れることは子どもたちにとって必要不可欠であり、今後もALT派遣を継続していくことでより力を付けることができいくものと考えています。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	ALTが一人体制となったため、時間割の組み方を工夫したり、より詳細な計画で打合せをするなど、効率的な準備を行っていく必要がある。
評価結果の根拠及び今後の課題 (担当課長記入)	令和5年度は、ALTは1学期の間は、不在であったが、7月末に1名体制でスタートした。大変優秀なALTで英語や流暢な日本語を交えながら授業に関わったり、アドバイスをしたりしている。また、柔道を愛好し、中学校の部活動にも参加する中で、日本の文化を学ぼうと好奇心旺盛な青年である。こうしたALTの生き方からも、子供たちは外国語に関心をもち、視野を広げて学びを深めている。(R6.3.21)

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	昨年度任用したALTが今年度で帰国予定となっていることから、新たにALTを招致する。ALTが1名であるため、各学校への訪問回数が限られていることから、県費教職員のset (Super English Teacher) 加配と連携を図りながら事業を進めていく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	安城小学校で授業を行うALT

事業名	小中学校人材育成事業
-----	------------

総事業費	4,500 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	児童生徒を対象に、学びに対する意欲を高めることを契機に、自己実現に向けた態度を育成する。 教職員を対象に、自己研鑽の場を通して、資質向上を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	県外から専門性の高い講師を招聘し、キャリア教育の視点から児童生徒及びその保護者の学びを深める機会を創出する。
	成果	児童生徒や保護者は、講師の話をもとにメモを取りながら真剣に聞いたり、積極的に質問したりする姿が見られるなど、児童生徒の学習意欲の向上や保護者の関わり方の改善につながり、当初の目的を果たすことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	講師選定に時間を要した。また、天候等により講師が来島スケジュールに変更が生じた。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	3名の講師を招聘しての講演会を開催した。保護者対象、小学高学年対象、中学生対象と設定した。 保護者対象では脳科学の分野からスマートフォンやタブレットとの関わり方、小学高学年対象では脳の働きからみた学習の進め方などについての講話をいただいた。また、中学生対象では、本市が進める読解力の向上に向けた学習の進め方についての講話をいただいた。 いずれも、聴衆者にとっては新鮮な内容で食い入るように聞いていた。これからの生き方、学習の進め方を考えるに十分に参考になるものであった。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	県外から専門性の高い講師を招聘し、キャリア教育の視点から児童生徒が学びを深める。
-----------	--